

愛知県障害者雇用促進プロジェクト受託

年度内30人就職めざす

人材サービス業のMan to Man(以下マン・トゥ・マン、本社名古屋市中区新栄、田中正次社長、電話052・262・8833)は、愛知県から「精神・発達障害者雇用促進プロジェクト」を受託、事業を開始した。本年度中に、精神障害、発達障害を抱える求職者30人の就職をめざす。

(竹田ゆりこ)

精神・発達障害者雇用促進プロジェクトは、愛知県が初めて実施。障害者向けに、ビジネスマナーなどの社会人の基礎知識から会社での仕組み、コミュニケーションの重要性、履歴書の書き方などを学ぶセミナーを5日間行つ。その後、企業

での職場実習なども予定している。

プロジェクトはマン・トゥ・マンの特例子会社で、デジタルアーカイブ事業や求人サイト運営事業などを展開するマン・トゥ・マンAnimo(アニモ、本社岐阜市)が受託した。7月に、ハローワークや障害者支援センター、特別支援学校、企業などの担当者らが集まり、説明会が開かれた。アニモは専任のコーディネーターを4人配置し、来年1月まで約半年間をかけて三河や尾張、知多など愛知県内12カ所で開催、セミ

ナーを開催する予定。企業紹介や支援機関の紹介、セミナー向けにも先進的雇用事例のセミナー受講者との交流会などを実施する。



7月に開かれた説明会

アニモの豊田聖事業本部長は「精神・発達障害に特化した雇用支援事業は珍しい。法定雇用率の引き上げで、企業も障害者雇用は課題。アニモが東海地域でハブ機能を果たし、一人でも多くの障害を抱える人を、企業とつなげていきたい」と話している。